

3-2-5 応仁の乱と戦国大名

やること

- 1 応仁の乱の原因
- 2 応仁の乱の結果
- 3 まとめ



学年通信が戸塚中学校の HP に UP されています
先生たちからのメッセージ読んでね～

1 応仁の乱の原因

(説明)

応仁の乱の原因は室町幕府 8 代将軍足利義政の跡継ぎ問題をめぐって大名や天皇家の皇子などを巻き込んで東軍と西軍に二分してしまったことです。

この乱では裏切りが次々とおこり乱が全国に広がっていきます。

(読み取り)

(1) 資料集 P 5 5 の②応仁の乱 A 応仁の乱直前の対立関係の図をみてみましょう。

東軍、西軍それぞれ誰を次の将軍おしていますか。

東軍：義視 西軍：義尚

(2) 細川勝元（東軍）山名持豊（西軍）はそれぞれ室町幕府でどのような役職についていたか

資料集 P 4 9 A 室町幕府の仕組み を見て答えなさい

細川勝元：管領 山名持豊：侍所（元侍所の長官）

(3) 資料集 P 5 5 B 焼け野原になった都 では 8 代目将軍義政の政治についてかかれています。

義政の政治はどのように行われていましたか、自分の言葉でまとめましょう

義政の政治は… （例）政治の決定を管領ではなく政治を知らない尼や若い女性と相談して決めていた。

（例 2）お酒を飲んでいる最中や遊んでいるときに政治的な決定をしていた。

2 応仁の乱の結果

(説明) 応仁の乱の結果幕府の権力はどんどんと落ちていき、将軍は京都を中とするわずかな地域を支配するだけになってしまいます。その中で社会は大きく変化していきます。

(1) 一揆が多発

① 山城の国一揆…山城の国人（農村に住む武士）が中心が起こした一揆

② 加賀の一向一揆…加賀の一向宗（浄土真宗）の門徒が起こした一揆

(読み取り)

資料集 P 54、55 にそれぞれ「山城国一揆」と「加賀の一向一揆」の史料があります。それを読み次のア～エがそれぞれどちらの内容か答えなさい

ア：畠山家の内紛が原因である

イ：一揆のあと 100 年間自治が行われた

ウ：一揆のあと 8 年間の自治が行われた

エ：守護の富樫政親を攻め滅ぼした

	山城国一揆	加賀の一向一揆
記号	ア・ウ	イ・エ

(2) 戦国大名の登場

実力のあるものが力を伸ばして上の身分の者に打ち勝つ「下剋上」の風潮が広がり戦国大名と呼ばれる人々がでてきます。守護大名が成長してなったり守護大名の家臣や家老が守護大名を倒してなるなどのパターンがあります。

①城下町の形成

戦国大名はそれぞれの城下町をつくりそこに家来や商工業者をよびよせました。

教科書 88、89 に戦国大名の浅倉氏の城下町・一乗谷の様子です。

②分国法の制定

戦国大名は独自の分国法をつくり武士や民衆の行動を取り締まりました。

(読み取り)

次の戦国武将が制定した分国法を資料集 P59⑥分国法から選びましょう。

朝倉家…朝倉孝景条々

武田家…甲州法度

今川家…今川仮名目録

長曾我部家…長曾我部元親百か条

浅倉ではなく朝倉でした…すみません



3 まとめ

1467年に起きた応仁の乱は8代将軍①の跡継ぎ問題が原因で起き、大名などを巻き込んだ全国的な乱となった。この結果地方での幕府での権力は低下し大規模な一揆がおきた。その中でも畠山家を国から追い出した②や一向宗の門徒が起こした③などがある。

また地方には新たな支配者がうまれた。戦国大名である。実力をつけた下のものが身分の上の者を倒すという④の風潮の中全国各地に戦国大名がうまれた。大名は自らの城の近くに⑤という町をつくったり裁判の規定などを定めた⑥を作ったりと独自の支配をしていた。

①足利義政	②山城国一揆
③加賀の一向一揆	④下剋上
⑤城下町	⑥分国法



うちで踊ろ～♪